

バルパライソの魅力

「バルパライソ」の由来

スペイン植民地時代に「Valparaíso (バルパライソ)」と名付けられ、由来は「Valle del Paraíso (天国の谷)」です！…が、植民地になる前、様々な先住民が住んでいました。先住民のそれぞれの言葉で違う名前がありました。「チャンゴ族」の言葉でバルパライソは「Quintil (キンティル)」と呼ばれ、「深い入り江」という意味です。「ピクンチェ族」の言葉では「Alimapu (アリマプ)」と言われ、「焼けた土」を意味します！市民たちに「バルポ」とよく呼ばれています！

～青空美術館～

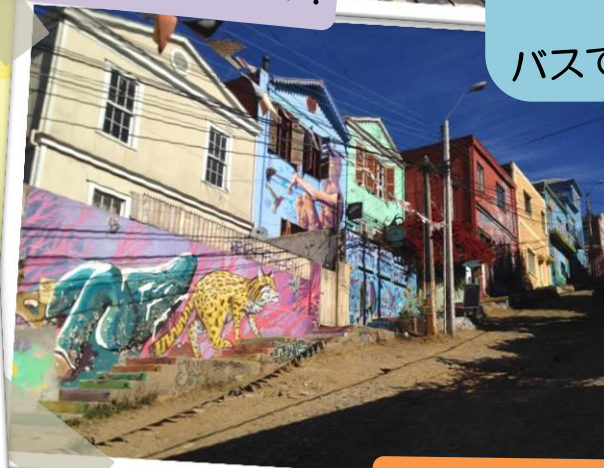
～Museo a cielo abierto～
1992年バルパライソカトリック大学の教師、画家の Francisco Mendez (フランシスコ・メンデス) は有名なチリ人画家を集めて壁画を描きました。普通の家々の壁や土留め壁などに描かれているので、鑑賞無料です！
Francisco Mendez (フランシスコ・メンデス) のほか、Roberto Matta (ロベルト・マッタ) や Jose Balmes (ホセ・バルメス) などの壁画もあります。



壁画No.17「Corazón de hueso blanco」(**)
(「白い骨の心」) / Jose Balmes



バルパライソの青空美術館 (*)



カラフルな家々！



バルパライソの落書き

「アセンソール」って？

2つの車両は上の駅にある滑車を通してロープで繋がっています。片方が降りてくると、もう片方が上がっていく、という仕組みで動いています！



アセンソール・アルティジェリア
(設置：1892年)

定員：25名 / 移動：80秒
延長：175メートル

バルパライソは首都のサンティアゴから約120キロ北西にあります。
バスで2時間ほどかかります。

バルパライソ



(*)Roferbia/ CC BY-SA (<https://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0>)

(**)Rodrigo Fernández/ CC BY-SA (<https://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0>)